

見通す力

大阪府で小学校6年生女児が誘拐され、栃木県で保護されるというまた、不可解な事件が起きました。まずは、女児が無事であったことと犯人が逮捕されたことにほっと胸をなでおろしましたが、知り合ったきっかけがSNSであったということに他人ごとではない思いがしました。

生活の中にますます身近なものとなっているSNS等の情報手段について、これまでからずっと言われてきたことではありますが、それを適切に使う力の育成を図ることが重要です。

本校においても、情報活用能力の育成に取り組んでいます。学習の中で、必要に応じてコンピュータ等の情報手段を用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、わかりやすく発信・伝達したりできる力をつけることと、そのために必要となる基本的な操作の習得を各教科の中で取り入れています。

先日の学習発表会でもICTを積極的に活用しました。コンピュータで作成処理した画像等を映し出し、より効果的な発表になるようにしたり、セリフを録音し実際に話すこととうまくミックスしたりして、工夫している場面が多く見られました。そして、4年生はソフトバンクのロボット「ペッパー」と一緒に発表しました。楽しい音楽の発表でしたが、曲の紹介などを「ペッパー」が担当し、「5人」の息が合った発表になりました。

現在、4年生はその「ペッパー」を使い、プログラミングの学習に挑戦しています。「学校みんなに発表しよう」の学習で劇づくりに取り組んでいます。そこに「ペッパー」も登場させるため、どんなセリフを言うのか、どんな身振り手振りがその場面に合うのかをイメージしながらプログラミングしていきます。



この劇づくりを通して、目指すところは、操作技術ではなく、論理的な思考を育てることです。指示通りに操作するのではなく、完成のイメージをつかみ、友だちと話し合いながら、必要な命令を各自でコンピュータを使って操作していきます。アイデアを試行錯誤しながら作り上げていく過程を通して、思考力や表現力を育てていきたいと考えています。



このような論理的な思考(プログラミング的思考)に併せ、情報モラル、セキュリティについてもしっかり指導し、情報活用能力を身に付けて、様々な場面でトラブルに巻き込まれず適切な判断ができる力、見通す力を育てていきたいと思っています。

後になりましたが、学習発表会には、お忙しい中、早朝より多数お越しいただきましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

校長 三宅 泰

がんばったマラソン大会

子どもたちは、朝マラソンや体育の学習の成果を発揮して、自分のめあてを達成しようと全力でがんばりました。

保護者・地域の皆様には沿道での温かいご声援を、ありがとうございました。

低学年は10分間、
中学年は15分間、
高学年は20分間
走りました。



学習発表会で学習の成果を披露しました！

京北第三小学校最後の学習発表会が行われました。今年度はこれまで学習してきたことの発表に力を入れました。子どもたちは、自分の言葉や、心を合わせた合唱・合奏などで、しっかりと発表することができました。昨年度より、本校では子どもたちの表現力の育成に力を入れています。学習発表会では、その成果を発揮することができました。

学習発表会当日には、多くの保護者・地域・来賓の方々にご参観していただき、温かい拍手を送っていただいたことは、子どもたちの自信になりました。皆様、ありがとうございました。



個人懇談会

先日お伝えした通り、個人懇談会を12月16日(月)、17日(火)、18日(水)に行います。

懇談では、ご家庭での様子もお聞きしながら、2学期の学校での学習と生活の様子や、冬休み中の課題等についてお話ししたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

主な予定

12月

2日(月) 人権月間開始

6日(金) 人権参観、PTA人権研修会

10日(火) 6年社会見学(国際平和ミュージアム)

16日(月)～18日(水) 個人懇談会

20日(金) 全学年合同学習(京北第一小、終日)

参観3・4校時(合同学習の様子を参観していただけます。)

登下校シミュレーション

4～6年周山中オープンスクール(午後)

学校預り金振替日

24日(火) 2学期終業式、大掃除、給食最終日

12月25日(水)～1月6日(月) 冬季休業

1月

7日(火) 3学期始業式、11:30下校

8日(水) 給食開始、16:00下校

令和元年度 京北第三小学校 6年生 全国学力・学習状況調査の結果

○各教科及び、児童質問紙の結果

国語科

全体の正答率は、全国平均を若干下回っているものの、「話す・聞く能力」は、3.9ポイント、「読む能力」は、8.8ポイント上回っています。「自分の考えをもち、表現できる子の育成」を目指し日々の授業を進めてきたことや読書指導、文章を読み取る学習を積み重ねてきた成果だと考えています。

しかし、「書く能力」は4.5ポイント、「言語についての知識・理解・技能」は14.9ポイント正答率が、全国平均より下回っています。特に漢字を文の中で正しく使ったり、文と文のつながりを考えながら接続語を使って文章を書いたりする学習については、反復練習を取り入れながら、普段の文章の中でも使えるようにしていきたいと考えています。

算数科

「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」という、算数科の観点ごとの正答率が、いずれも全国平均を下回るという厳しい結果となりました。とくに「数学的な考え方」の正答率は、全国平均よりも13ポイントほど下回っています。一方で、「数量や図形についての知識・理解」については、全国平均よりも5ポイントほど上回っています。

台形についての理解、示された除法の式の意味の理解、目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだす問題について全国平均を上回りました。四則計算の正答率については、全国平均とほぼ同じでした。大杉っ子タイムや家庭学習での反復練習の成果が表れてきていると思います。

「数学的な考え方」にかかわる問題は、問題文が長く、図や表もまじえて説明がされていました。そこから解答を導く手がかりを見つけ出すことができなかった、あるいは、既習事項を想起して立式、解答ができなかったことが正答率の低さにつながったと考えられます。やはり国語と同様に読むことに課題があることがわかりました。授業では、問題把握の場面に力を入れ、大杉っ子タイムや家庭学習では、既習事項の反復練習を一層充実させることで、克服していきたいと考えています。

児童質問紙

読書が好きとの回答が多いですが、図書館利用に対しての「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室にどれくらい行きますか」という説問では、ほぼ利用しないとの回答が多く、学校図書室の利用に関心が低いことが伺えます。学校図書館の情報を発信していき、図書館利用の充実を図っていきたいと考えています。

地域について好意的に捉えている回答が多く、外国人や外国についても好意的であると回答しています。このことから、今後、地域の課題と向き合っていくなかで、外国人や外国に地域の魅力を発信することにより、地域発展、地域創生につながると考えています。

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちのよさや可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくものです。学力は、学校・家庭・地域との連携のもとで定着していくものであり、日々の生活習慣や学習習慣が基盤となります。今回の結果を踏まえ、学校では、児童が主体的に学習したり、発表したりするような授業づくりを目指し、また、基礎基本の定着に向けて反復練習などに力を入れていきたいと考えています。ご家庭や地域でも、引き続き子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。